

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績
1. 病院事業	<p>1. 事業概要</p> <p>(1) 総括事項</p> <p>平成26年度の病院事業は、町内唯一の医療機関として、入院、外来及び救急指定病院の役割を担い救急患者の対応に努めたほか、保健・予防活動として町保健福祉課との連携により、特定健診などの各種検診業務等を行った。</p> <p>患者の利用状況については、一般病床及び療養病床を併せ、1日当り入院は44.0人で前年度比5.2人(10.7%)の減、外来は100.4人で前年度比11.0人(9.9%)の減となった。</p> <p>収益勘定の医業収益では、入院が320,692千円で前年度比35,489千円(10.0%)の減、外来は177,547千円で前年度比24,461千円(12.1%)の減となった。</p> <p>訪問看護事業には実績がなく、これに「その他の医業収益」35,836千円を加えると平成26年度の医業収益は534,075千円、医業外収益は263,593千円で病院事業収益合計では797,668千円となり前年度比で93,154千円(10.5%)の減となった。</p> <p>医業費用では、給与費が567,452千円で前年度比38,363千円の減、材料費は81,906千円で前年度比8,548千円の減となった。</p> <p>経費は147,304千円で前年度比8,659千円の減となった。</p> <p>減価償却費は1,578千円の増となり、医業費用合計では840,830千円となり前年度比51,920千円の減となった。</p> <p>医業外費用は、地方公営企業法の会計制度の見直しがあり、新たに特別損失として27,881千円が計上された結果34,477千円となり、前年度比4,960千円の増となり、病院事業費用の合計は903,188千円で前年度比19,079千円(2.1%)の減となった。そのうち一般会計から収益的収支に対する負担金として260,000千円(前年度比30,000千円減)を繰り入れた。収支差引では105,520千円の赤字決算となり、未処理欠損金は前年度末残高482,232千円と合わせて587,752千円となった。</p> <p>資本勘定では一般会計からの出資金54,727千円、国保会計繰入金は3,132千円、不足する額21,502千円は過年度損益勘定留保資金を充当して、有形固定資産購入に27,293千円、企業債償還金支払いに52,068千円を支出した。資本的収支全体では79,361千円となった。(前年度比8,771千円増)</p> <p>医師体制については、4人の常勤医師体制でスタートしたが、6月に大川前院長の地方公務員法の違反等で懲戒免職処分としたことにより、1名減の3人体制となったが、池田医師を院長職務代理として発令し、北海道地域医療財団等の支援を得ながら診療体制の安定確保を図った。後任の常勤医師の確保は1月に石徹白内科部長を採用し、併せて池田医師を院長として発令した。3月末には井上外科部長が退職した。短期医師については、整形外科診療は市山医師に、泌尿器科診療は協会病院に、眼科診療は北海道大学に診療を依頼し行った。</p> <p>年度末の職員数は69人であり、その内訳は正職員43人、臨時職員26人である。</p> <p>こうした体制のもとで病院経営は、一般会計からの繰り入れを除く実質赤字額は365,520千円となり前年度比44,075千円の増となった。「公立病院改革ガイドライン」で示された経営の効率化や再編・ネットワーク化などの「公立病院改革プラン」の実施状況を確認しながら地域における医療を守るためにも、今後とも医師の安定確保を図り、信頼される医療の提供と患者サービスの向上を図るとともに更なる経費の節減と増収、増益に意を用い経営の健全化に努めていかなければならない。</p> <p>①診療体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師体制について</li> <li style="padding-left: 2em;">内 科 3人 (6月に1人退職、1月に1人採用)</li> <li style="padding-left: 2em;">外 科 1人</li> </ul>

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出張医関連医局等 <ul style="list-style-type: none"> <li>眼科外来～北海道大学医学部眼科学分野</li> <li>泌尿器科外来～帯広協会病院泌尿器科</li> <li>整形外科外来～帯広整形外科医師</li> <li>札幌医科大学第三内科、神経内科</li> <li>旭川医科大学麻酔・蘇生科</li> </ul> </li> <li>②保健予防活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>町民の保健予防活動については、保健福祉課との連携により行われた。</li> <li>日帰り人間ドック</li> <li>特定健診</li> <li>各学校・各職場健康診断</li> <li>各種予防接種</li> <li>健康相談会</li> <li>広報活動 町広報「病院だより」・出前講座「医師による健康講話」</li> </ul> </li> <li>③経営安定対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>病院事業の経営改善計画に基づき、経営会議と院内会議を継続的に開催し、収益の向上と経費の節減に向けた対策の検討を行った。</li> <li>また、医療事務の一部委託、清掃業務及び警備業務、公用車運転業務、調理業務などを当年度も全面委託し経費の節減に努めた。</li> </ul> </li> <li>④建設改良事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>有形固定資産購入は、次のとおり医療機器の整備を行った。</li> <li>診療充実にに向けた医療機器整備事業（医療機器等6品目 2. 資産の取得及び処分（1）資産の取得・器械備品等の取得欄に記載のとおり）27, 293, 400円</li> </ul> </li> <li>⑤収支決算 <ul style="list-style-type: none"> <li>入院及び外来の患者数、収益とその他医業収益については、医師の減により医業収益全般に影響し、対前年度比で62, 661千円の減となった。</li> <li>また、費用では、給与費、材料費、経費などが減少し、費用合計では対前年度比で19, 079千円の減となり、105, 520千円の赤字決算となった。</li> <li>当年度総収益 797, 667, 772円</li> <li>当年度総費用 903, 188, 072円</li> <li>当年度純損失 105, 520, 300円</li> <li>当年度未処理欠損金 587, 752, 458円</li> </ul> </li> <li>⑥一般会計と国保会計からの負担金及び補助金 <ul style="list-style-type: none"> <li>収益的収支 <ul style="list-style-type: none"> <li>一般会計 260, 000, 000円（前年度290, 000, 000円）</li> <li>計 260, 000, 000円（前年度290, 000, 000円）</li> </ul> </li> <li>資本的収支 <ul style="list-style-type: none"> <li>一般会計 54, 727, 000円（前年度 49, 522, 000円）</li> <li>国保会計 3, 132, 000円（前年度 0円）</li> <li>計 57, 859, 000円（前年度 49, 522, 000円）</li> </ul> </li> <li>収益的及び資本的収支の合計 <ul style="list-style-type: none"> <li>一般会計 314, 727, 000円（前年度339, 522, 000円）</li> <li>国保会計 3, 132, 000円（前年度 0円）</li> <li>計 317, 859, 000円（前年度339, 522, 000円）</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 議会の議決事項</p>																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">議会</th> <th style="width: 20%;">議案</th> <th style="width: 50%;">件名</th> <th style="width: 20%;">議決年月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定例第3回</td> <td>認定第9号</td> <td>平成25年度病院事業会計歳入歳出決算認定</td> <td>平成26年9月12日</td> </tr> <tr> <td>定例第1回</td> <td>議案第14号</td> <td>平成26年度病院事業会計補正予算(第1号)</td> <td>平成27年3月6日</td> </tr> <tr> <td>定例第1回</td> <td>議案第55号</td> <td>平成27年度病院事業会計予算</td> <td>平成27年3月13日</td> </tr> </tbody> </table>	議会	議案	件名	議決年月日	定例第3回	認定第9号	平成25年度病院事業会計歳入歳出決算認定	平成26年9月12日	定例第1回	議案第14号	平成26年度病院事業会計補正予算(第1号)	平成27年3月6日	定例第1回	議案第55号	平成27年度病院事業会計予算	平成27年3月13日
議会	議案	件名	議決年月日														
定例第3回	認定第9号	平成25年度病院事業会計歳入歳出決算認定	平成26年9月12日														
定例第1回	議案第14号	平成26年度病院事業会計補正予算(第1号)	平成27年3月6日														
定例第1回	議案第55号	平成27年度病院事業会計予算	平成27年3月13日														

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																																														
	(3) 職員に関する事項																																														
	職種別	25年度末 H26.3.31 現在	26年度末 H27.3.31 現在		平成26年度中の異動																																										
			総数	内臨時	採用	退職																																									
	医 師	4	4		石徹白 H27.1.1	大川 H26.6.23 井上 H27.3.31																																									
	薬 剤 師	1	1		西尾 H26.4.1	西尾 H26.9.30																																									
	臨床検査技師	3	2	1																																											
	放射線技師	2	2																																												
	理学療法士	1	1																																												
	臨床工学士	1	2		馬渕 H27.1.1																																										
	看 護 師	27	27	3	船戸 H26.4.7 丸次 H27.1.1 須貝 H27.1.13 伊賀野 H27.1.13	小森 H26.6.30 清水こ H26.8.31																																									
	准 看 護 師	13	13	9		松井 H27.3.31																																									
	看護補助員	9	10	10	異動 戸崎 H26.4.1 坂井 H26.10.22	牛渡 H27.3.31																																									
	栄 養 士	2	1	1																																											
	薬 剤 助 手	1	1	1																																											
	理 療 助 手	0	0																																												
事 務 員	5	5	1	異動 藤井 H26.4.1	奥村 H27.3.31																																										
計	69	69	26																																												
※平成27年3月31日退職者は平成26年度末総数に含め、退職者数に含めない。																																															
※清掃員4人、警備員2人、事務員6人、雑役業務1人、給食調理員4人、計17人は民間委託。																																															
2. 資産の取得及び処分																																															
(1) 資産の取得・器械備品等の取得																																															
<table border="0"> <tr> <td>輸液ポンプ</td> <td>2台</td> <td>376,000円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>個人用多用途透析装置</td> <td>2台</td> <td>5,800,000円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ベットサイドモニター</td> <td>1台</td> <td>769,000円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>薬用冷蔵ショーケース</td> <td>1台</td> <td>220,000円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ファックス</td> <td>1台</td> <td>185,000円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>医事システム</td> <td>1式</td> <td>19,943,400円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>27,293,400円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						輸液ポンプ	2台	376,000円				個人用多用途透析装置	2台	5,800,000円				ベットサイドモニター	1台	769,000円				薬用冷蔵ショーケース	1台	220,000円				ファックス	1台	185,000円				医事システム	1式	19,943,400円				合計		27,293,400円			
輸液ポンプ	2台	376,000円																																													
個人用多用途透析装置	2台	5,800,000円																																													
ベットサイドモニター	1台	769,000円																																													
薬用冷蔵ショーケース	1台	220,000円																																													
ファックス	1台	185,000円																																													
医事システム	1式	19,943,400円																																													
合計		27,293,400円																																													
(2) 資産の処分																																															
<table border="0"> <tr> <td>技師住宅</td> <td>1戸</td> <td>5,000,000円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人工透析器機</td> <td>1式</td> <td>33,862,500円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人工透析装置</td> <td>1式</td> <td>5,066,250円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>個人用透析装置</td> <td>1式</td> <td>3,987,900円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>財務会計システム</td> <td>1式</td> <td>3,246,000円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>公用車</td> <td>1台</td> <td>2,510,000円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>53,672,650円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						技師住宅	1戸	5,000,000円				人工透析器機	1式	33,862,500円				人工透析装置	1式	5,066,250円				個人用透析装置	1式	3,987,900円				財務会計システム	1式	3,246,000円				公用車	1台	2,510,000円				合計		53,672,650円			
技師住宅	1戸	5,000,000円																																													
人工透析器機	1式	33,862,500円																																													
人工透析装置	1式	5,066,250円																																													
個人用透析装置	1式	3,987,900円																																													
財務会計システム	1式	3,246,000円																																													
公用車	1台	2,510,000円																																													
合計		53,672,650円																																													

項目	主要施策・成果・予算執行実績							
3. 業務								
(1) 業務量、患者延べ人数及び1日平均患者数 ( ) 前年度 (単位:人)								
	区分	内科	外科	眼科	整形外科	泌尿器科	合計	
入院	延べ人数	(14,803)	(3,161)	(0)	(0)	(0)	(17,964)	
		12,452	3,596	0	0.0	0	16,048	
院内	1日平均	(40.5)	(8.7)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(49.2)	
		34.1	9.9	0.0	0.0	0.0	44.0	
外来	延べ人数	(20,089)	(4,850)	(687)	(1,228)	(432)	(27,286)	
		18,199	3,997	743	1,230	420	24,589	
来	1日平均	(82.0)	(19.8)	(2.8)	(5.0)	(1.8)	(111.4)	
		74.3	16.3	3.1	5.0	1.7	100.4	
合計	延べ人数	(34,892)	(8,011)	(687)	(1,228)	(432)	(45,250)	
		30,651	7,593	743	1,230	420	40,637	
計	1日平均	(122.6)	(28.5)	(2.8)	(5.0)	(1.8)	(160.6)	
		108.4	26.2	3.1	5.0	1.7	144.4	
※ 外来患者数の内、時間外診療770人(内、救急車搬入27件)								
(2) 集団検診等の状況 ( ) 前年度 (単位:日/人)								
	特定健診等	学校保育所関係検診	教職員検診	人間ドック	結核検診	職場検診	その他	計
日数	(27)	(29)	(11)	(25)	(0)	(104)	-	(延196日)
	24	29	12	29		94	-	延188日
実施人数	(36)	(1,293)	(87)	(61)	(0)	(706)	(592)	(2,775)
	42	1,192	79	66		720	432	2,531
(3) 訪問診療の実績 (単位:件/人)								
年度別	対象実人員			訪問診療延件数			備考	
	男性	女性	計	男性	女性	計		
26年度	2	4	6	18	30	48		
25年度	3	5	8	22	35	57		
24年度	2	3	5	6	8	14		
23年度	0	0	0	0	0	0		
22年度	0	0	0	0	0	0		
(4) 事業収益に関する事項 (単位:千円)								
	区分	平成26年度	平成25年度	比較増減				
	医業収益	534,075	596,736	△62,661				
	入院収益	320,692	356,181	△35,489				
	外来収益	177,547	202,008	△24,461				
	訪問看護収益	0	0	0				
	その他医業収益	35,836	38,547	△2,711				
	医業外収益	263,593	294,086	△30,493				
	受取利息配当金	68	67	1				
	他会計負担金	260,000	290,000	△30,000				
	患者外給食収益	387	416	△29				
	その他医業外収益	3,138	3,603	△465				
	収益合計	797,668	890,822	△93,154				

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績		
	(5) 事業費用に関する事項		(単位：千円)
	区分	平成 26 年度	平成 25 年度
			比較増減
	医業費用	840,830	892,750
	給与費	567,452	605,815
	材料費	81,906	90,454
	経 費	147,304	155,963
	減価償却費	39,395	37,817
	資産減耗費	2,389	0
	研究研修費	2,384	2,701
	医業外費用	34,477	29,517
	支払利息	16,738	17,649
	患者外給食材料費	182	295
	雑損失	17,557	11,573
	特別損失	27,881	0
	費用合計	903,188	922,267
	収支差引	△105,520	△31,445
	4. 会計		
	企業債及び一時借入金の概要		
	(1) 企業債		
	前年度末未償還残高	9 6 4, 4 2 2, 7 2 8 円	
	本年度企業債発行額	0 円	
	本年度償還金額	5 2, 0 6 8, 0 2 9 円	
	本年度末未償還残高	9 1 2, 3 5 4, 6 9 9 円	
	(2) 一時借入金		
	今年度も借入せずに運営できた。		